

単元名：自分たちの学校を紹介しよう						
科目名	中国語	作成日	-	作成者	プロジェクトメンバー	
学年/年次	-	クラス人数	-	使用教科書名(対応する課)	-	
話題分野	学校生活	言語レベル	2	必要時間数	8時間	
I 単元目標						
<p>中国の学校について日本の学校と比較しながら理解し、自分たちの学校について交流校の生徒に紹介するプレゼンテーション資料を作り、相手校の生徒たちの前で発表することができる。</p>						
	言語	文化	グローバル社会	学習者	教室外	他教科
わかる						
できる						
つながる						
言語領域	文化領域	グローバル社会領域				
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆一緒に校内を歩きながら学校の施設について口頭で説明することができる。</li> <li>◆上海の高校生の書いた感想文を読むことができる。</li> <li>◆歓迎式での学校の概要紹介において、学生数やクラス数、カリキュラムなどについてプレゼンテーションソフトを使って紹介することができる。</li> <li>◆自分たちの所属している部活動をそれぞれ紹介することができる。</li> <li>◆中国の学生にわかりやすく説明するための工夫ができる。(コミュニケーション・ストラテジー)</li> <li>◆お互いの学校生活のことなど、やりとりしながら交流することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆中国の学校との相違点を意識し、紹介のポイントを整理することができる。</li> <li>◆発表を聞いて、自分の学校との共通点・相違点について比較検討することができる。</li> </ul> <p>★学習者のコミュニケーション能力レベルに応じて、日本語の助けを借りて行ってもよい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆プレゼンテーションソフトを使用することができる。(情報活用)</li> <li>◆日中それぞれの国における教育システム(受験問題など)を比較して、その異同を考えることができる。(知識理解)</li> </ul> <p>★学習者のコミュニケーション能力レベルに応じて、日本語の助けを借りて行ってもよい。</p>				
コミュニケーション能力指標	<p><b>【学校生活】</b></p> <p>2-a.教室や学校内のどこに何があるか(げた箱、職員室、体育館、プール、保健室など)について、口頭でやりとりできる。</p> <p>2-b.学校の簡単な概要(共学、中高一貫、全体/クラスの生徒数、男女別人数、時間割など)を説明した、簡単な資料をつくることができる。</p> <p>2-c.休み時間や放課後の過ごし方(クラブ活動、生徒会活動、清掃など)について、口頭または書いて紹介しあうことができる。</p> <p>2-d.学校のスケジュール(1日、週間、年間)について、口頭または書いてやりとりできる。</p> <p>2-e.自分がクラスや学校・クラブ活動などで担っている役割(委員や係りなど)について、話すことができる。</p> <p>★言語領域の「できる」の目標を設定する際に参照した指標。他の領域の目標設定とも連動している。数字は【言語レベル-指標表番号】を表示している。</p>					
II 評価						
学習を助けるための評価 (形成的評価)			目標達成度を測る全体的評価(総括的評価)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆模造紙の見取り図を使って学校施設を紹介する。(聞き取りやすさ、発音の正確さ)</li> <li>◆自分の学校生活を文章にまとめる。(記述の仕方、表現の工夫、まとめ)</li> <li>◆プレゼンテーションソフトを使って学校の概略を説明するプレゼン資料を作成する。(必要な情報、わかりやすさ)</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>◆作成したプレゼンテーション用資料を使って自分たちの学校や参加している部活動を紹介する。(表現や態度の適切さ、発音の正確さ、内容構成)</li> <li>◆相手校の概要を読み取り、自分たちの学校と比較し、報告する。(情報の正確さ、文化的差異への気づき、考察度、報告内容のまとめ)</li> </ul>			

III 学習活動		
プレコミュニケーション活動 (語彙・表現習得活動)	コミュニケーション活動 (学習シナリオ)	
<p>◆班に分かれ、模造紙に自分の卒業した中学校の見取り図や概要、年間行事予定などを書き、施設の位置説明を交えながら紹介する。その後班ごとに模造紙を見せながら発表する。【2-a,b,d】</p> <p>◆自分の学校生活について文章にしてみる。発表し合う。【2-c,e】</p> <p>★【 】内は対応するコミュニケーション能力指標</p>	<p>&lt;場面状況&gt; D高校では、交流校の上海の高校生が交流にやってくることになり、中国語クラスで学校を紹介することにした。</p> <p>&lt;活動の流れ&gt; 交流相手校の概要も参考にしながら自分の学校の何を紹介するか考える。とくに中国の学校にはない行事・施設について説明の仕方を工夫する。プレゼンテーションソフトを使って、自分の学校を紹介する(学生数やクラス数、カリキュラム、部活など含む)プレゼン資料を作る。 上海の高校生を迎える当日、歓迎式の中で、学校の概要を紹介する時間を設け、予め作成したプレゼン資料を使って紹介する。その後、一緒に校内を歩きながら学校の施設について口頭で説明する。自分たちの所属している部活動をそれぞれ紹介し、興味のあるものに一緒に参加してもらう。校内を案内している様子をビデオに撮影する。 上海の高校生に感想を書いてもらい、案内している様子とともに冊子にまとめる。</p>	
<p>&lt;使用教材・教具&gt; PC、プレゼンテーションソフト、中国の学校のパンフレット、ビデオカメラ、プロジェクター</p>		
表現と表現のポイント	語彙	文化・グローバル社会事象と事象のポイント
<p>&lt;表現&gt; 我们学校位于埼玉县的南部, 渡过荒川就是东京。/ 我们学校有1132名学生。女生比男生多, 60%是女生。/ 我们学校课外活动很丰富。/ 星期天早上我常常带狗去散步。/ 每个星期六下午我都去补习学校上课。/ 每个星期天你做什么? / 你每天睡几个小时? / 我每天看两个小时电视。/ 我有时候和朋友一起去逛街。/ 你起得很早啊! / 你每天睡得晚不晚? / 晚上你在家做什么? / 下课以后, 我经常去图书馆。/ 晚上我帮妈妈做家务。/ 我学习非常紧张。/ 高中生生活非常愉快。/ 你最近怎么样? 还行。/ 还可以。</p> <p>&lt;表現のポイント&gt; “有～”、“位于～”、“百分之～”、主谓谓语句、“常”、“每”、“都”、時間の長さの表し方、“去”+場所+動詞、動詞+継続時間+目的語、“和”+人+“一起”+動詞、動詞+“得”( +副詞 ) +形容詞、状態補語、助詞“啊”(感嘆)、“在”+場所+動詞、“～以后”、“有时候”、“怎么样”、“帮”+人+動詞、主述述語文</p>	<p>～外大附校全景、前广场、后广场、教学楼一角、天文台、～花园、培训中心楼、乒乓球馆、网球场、操场、艺体馆、体育馆、游泳池、图书馆、办公室、教室、小卖部鞋柜、同声传译报告厅、计算机房、维视达系统主控室、电子阅览室、音乐视听室、语音室、食堂、学生餐厅、留学生公寓、学生公寓、义务教育、小学、初中、高中、中学、高等学校、大学、年级、班、上学、留学、升学、校歌、校规、校训、课本、黑板、桌子、椅子、词典、铅笔、圆珠笔、钢笔、校长、副校长、老师、班主任)など、班会、板报、家长 家长会、男生、女生、同学、高考、学生会、课堂、课程表、开学典礼、入学典礼、毕业典礼、运动会、长跑、马拉松、文化节、考试、笔试、面试、期末考试、期中考试、修学旅行、春游、成绩单、成绩、学生证、必修课、选修课、放假、暑假、寒假、语文</p>	<p>&lt;事象&gt; ◆ゲストを歓迎する習慣 ◆部活 ◆学校の施設 ◆学校の概要 ◆教育システム</p> <p>&lt;事象のポイント&gt; ◆中国の高校生に関心をもち、歓迎する態度を身につける。 ◆中国の学校の概要と比較しながら、相違点は特に丁寧に説明することを意識しながら自分の学校を紹介する。 ◆日中それぞれの国における教育システム(受験問題など)を比較して、その異同を考えることができる。</p>
教室外(人・モノ・情報)との連繋	他教科の内容との連繋	
交流校の高校生、中国の学校のパンフレット	情報	